

しゅうかくわん

11月12日にしゅうかくわんがありました。地域のひと、私の家族も来てくれました。

はじめに、お母さんと、愛先生がていもの皮をはいでくれて、わたしたちは、すりおろしきを使ってすりしました。ていもはすぐくねばねばしてしまいました。ていもが小さくなってきたらミキサーに入れて回しました。ていもをたくさんすってつかれたけど、楽しかったです。

つぎに、もちつきのところに行きました。私の番が来たとき、うすにあたりませんように、と、思いながら、きねでおもちをドンドンとつきました。その後、おもちをまるめました。少し熱かったけどおもちのいい匂いがして、おいしそうと思いました。もちもちのおもちをまるめるのが楽しかったです。

ていもをすったり、おもちをつくれたりしたのが楽しかったです。来年のしゅうかくわんも楽しみです。



(拳ノ川小学校 2年 西山種)

れつ車のつたよ

11月9日に、中村駅に見学へ行きました。えきには、まち合室や売店がありました。売店には、アイスクリームやおみやげがたくさん売っていて、おいしそうでした。でも、わたしは、お金をもつていなかったのので、買うことができませんでした。

ほかにも、立ち入り禁止のところを見学させてもらいました。そこには、れつ車を洗ったりするところや、いろいろな道ぐがあつて、すごいと思いました。



れつ車にのって、土佐佐賀えきまで行くとき、中、まどの外を見ると、海がキラキラしていて、とてもきれいでした。こんどは、家ごくんなどのでりたいです。

(三浦小学校 2年 大城いと)

防災デーでの学び

11月18日、岩手県釜石市立釜石東中学校卒業生の紺野堅太さんを講師に迎え、講演会を行いました。東日本大震災を体験した紺野さんの話では、避難場所とさかれていた所にも津波が迫ってきたため、さらに高い所に逃げたことを聞きました。紺野さんは、防災のための大事な3点として「ハザードマップを知る・徹底した避難訓練・津波でんこん」を挙げており、中でも大事なのが津波でんこんだということをおぼろげに学びました。写真や動画もあつて、改めて津波の怖さを実感しました。

講演後は、海岸に近い場所から逃げトレを使っての避難訓練、避難所生活を想定した水の確保、炊き出し、ダンボールベッドの製作などを体験しました。紺野さんがおっしゃっていた大事な3つのポイントを心に留め、自分は何ができるかを考えながら今後も防災活動に取り組みたいと思います。



(大方高校 3年 喜多あすか)